

「施設長のための業務チェックリスト (実践のポイント)」のご案内

日本福祉施設士会 調査研究委員会

チェックリストとは

日本福祉施設士会が、平成25(2013)年に、「福祉施設士」資格および「日本福祉施設士会」の目的を会員一人ひとりが再認識し、その自覚的な取り組みを促進するための指針とすべく策定した「福祉施設士行動原則～6つの姿勢と12の行動～」に基づき、令和4(2022)年に施設長として押さえてたい具体的な実践ポイントをチェックリスト化したものです。

チェックリストの構成

利用者や社会、法人・施設、地域、ご自身のそれぞれに対し、施設長として実践していることをチェックします。(計65項目)

<「利用者や社会」に対して>

- 1 利用者への姿勢 No.1-11
- 2 社会への姿勢 No.12-22

<「経営・管理する法人・施設」に対して>

- 3 組織への姿勢 No.23-32
- 4 職員への姿勢 No.33-47

<法人・施設がある地域に対して>

- 5 地域への姿勢 No.48-56

<「管理者としての自身」に対して>

- 6 自己への姿勢 No.57-65

回答結果はグラフで表示され、強みと弱みが確認できます。

取り組んでのご感想 ※日本福祉施設士会メールマガジンにて連載中

施設長として何を求められているか、実践しないといけないのかを改めて学ぶことができました／新任の施設長が自身の方針を整理し、具体的な行動指針を得るのに非常に有益であると感じました／業務の全体像を正確に把握する上で大変役立ちました／日頃の取り組みの成果が数字で示された項目、力を入れて取り組むべき課題、それぞれが顕著に現れました

多様な活用方法

会員ご自身が定期的なセルフチェックにより施設長業務の振り返りにお役立ていただく他、新任施設長あるいはその候補者に向けた教育アイテム、法人・施設の人事考課(自己評価と他社評価)等、多様な場面での活用が可能です。(会員の皆様からの活用事例もお寄せください)

「施設長のための業務チェックリスト(実践のポイント)」は、本会のホームページからエクセルファイルをダウンロードいただけます。

※チェックリストはこちら(ホームページへ移動します)

<https://x.gd/OmLP5>

QRコードは
こちらです

